

サツマイナモリ

[草本] 《嗜好》



ヤクカナワラビと混生。



花は漏斗状。



花冠は5裂。

区別のポイント

林内の特に湿ったところにある。高さ 10 ~ 25 cm で群生することが多い。葉は対生し、茎の先端に数個の漏斗状の白い花を付ける。

形態 多年草。高さ 10 ~ 25 cm。

分布 関東南部以西

名前の由来 イナモリソウが三重県の稲森山で見つかったことから。

葉 **〈全体〉**卵形または長楕円状披針形で長さ 2 ~ 5 cm、表面にまばらに細かい毛がある。

〈付き方〉対生。 **〈葉柄〉** 1 ~ 3 cm。

〈基部〉狭まって柄となる。

〈葉先〉短く尖る。

〈縁〉全縁。

備考

出典 1 2